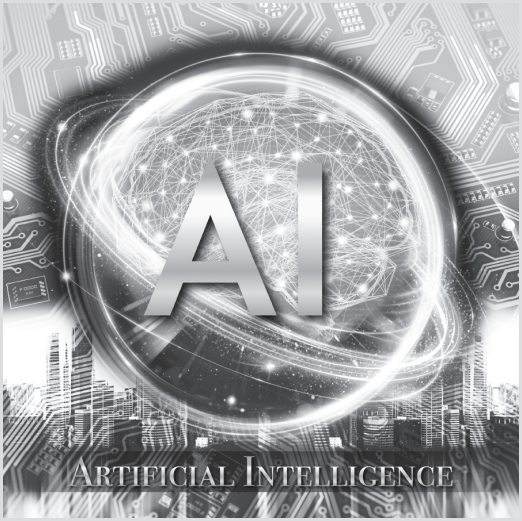
交付運用報告書

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

グローバルＡＩファンド
（為替ヘッジあり予想分配金提示型）

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：グロＡＩ有分



第２作成期　2020年３月26日から2020年９月25日まで

第６期	決算日 2020年４月27日	第７期	決算日 2020年５月25日
第８期	決算日 2020年６月25日	第９期	決算日 2020年７月27日
第10期	決算日 2020年８月25日	第11期	決算日 2020年９月25日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。
当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。
今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

当作成期の状況

基準価額（作成期末）	12,918円
純資産総額（作成期末）	4,018百万円
騰落率（当作成期）	＋63.7％
分配金合計（当作成期）	2,000円

※騰落率は、分配金（税引前）を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
https://www.smd-am.co.jp

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
コールセンター　0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

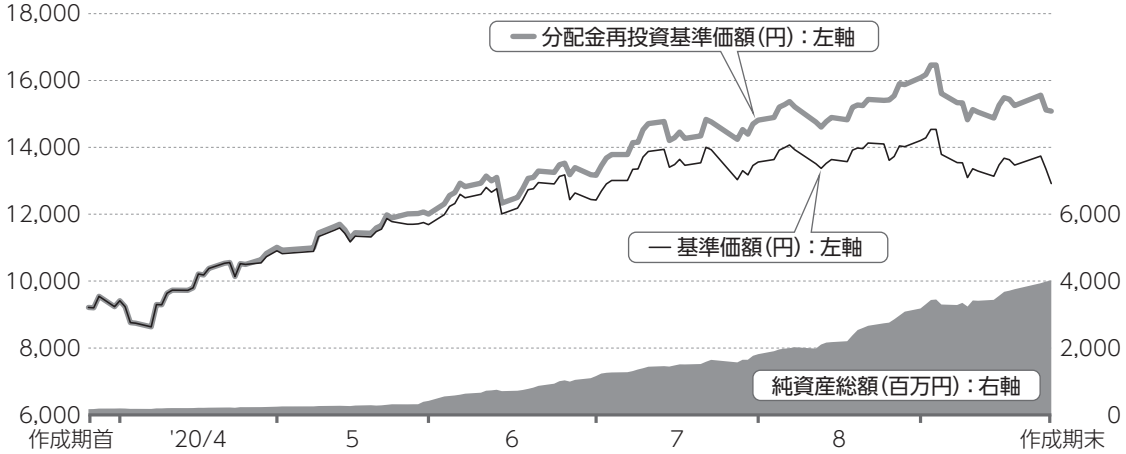
当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書（全体版）」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について（2020年３月26日から2020年９月25日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	9,214円
作成期末	14,918円 （当作成期分配金2,000円（税引前）込み）
騰 落 率	＋63.7% （分配金再投資ベース）

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。（以下、同じ）

基準価額の主な変動要因（2020年３月26日から2020年９月25日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界の上場株式の中からＡＩ（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行いました。

上昇要因

- ３月から４月にかけて、ＦＲＢ（米連邦準備制度理事会）をはじめ、世界各国の中央銀行が大胆な金融緩和政策を実施したことや米国など各国政府が大規模な財政出動に動いたこと
- ５月から６月にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う欧米諸国でのロックダウン（都市封鎖）が徐々に解除される中、経済活動再開への期待感が高まったこと

下落要因

- ９月に、ハイテク株を中心とした夏場の株式市場の急騰に対する警戒感から調整売りが入ったこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	騰落率	作成期末組入比率
グローバルＡＩエクイティ・マザーファンド	内外株式	＋63.3％	94.1％

※比率は、純資産総額に対する割合です。

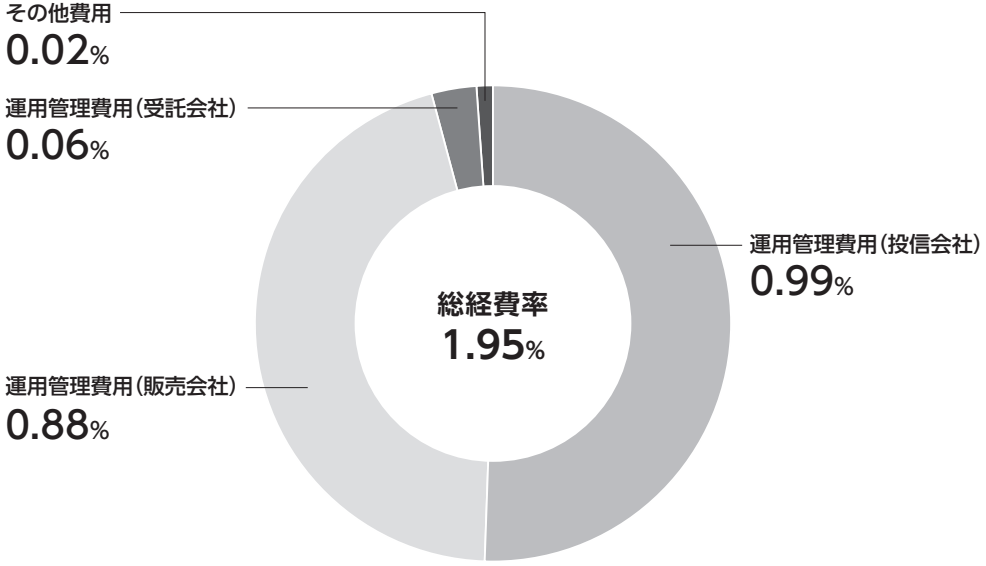
※マザーファンドでは為替ヘッジを行っていないため、ベビーファンドの騰落率と大きく異なる場合があります。

１万口当たりの費用明細（2020年３月26日から2020年９月25日まで）

項　目	金額	比率	項目の概要
(a) 信　託　報　酬	117円	0.970%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 期中の平均基準価額は12,032円です。 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
（投信会社）	(60)	(0.499)	
（販売会社）	(53)	(0.444)	
（受託会社）	(3)	(0.028)	
(b) 売買委託手数料	7	0.059	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(7)	(0.058)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
（先物･オプション）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.000)	
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
（保管費用）	(1)	(0.006)	
（監査費用）	(1)	(0.004)	
（そ の 他）	(0)	(0.001)	
合　　計	125	1.040	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

参考情報 総経費率（年率換算）



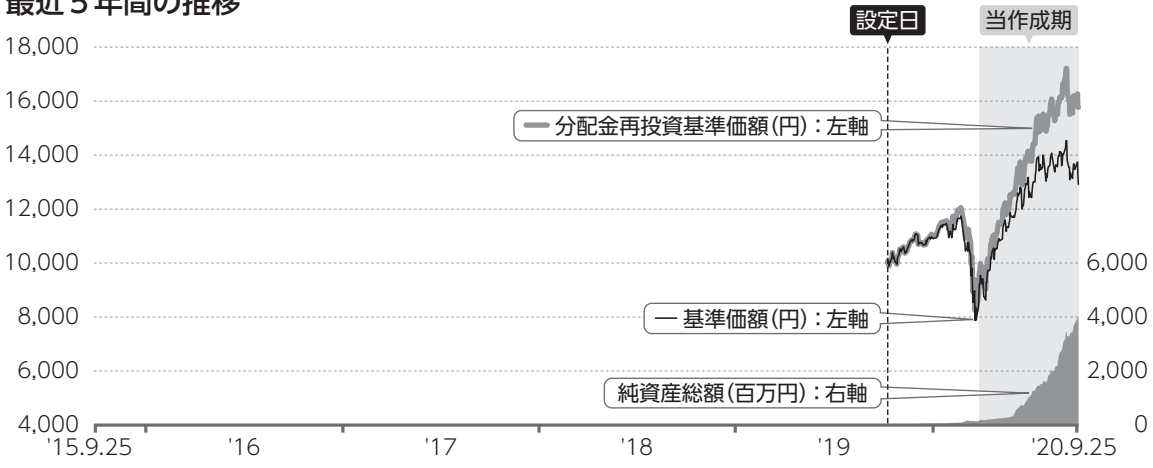
※各費用は、前掲「１万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
※各比率は、年率換算した値（小数点以下第２位未満を四捨五入）です。
※上記の前提条件で算出しているため、「１万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.95％です。

最近５年間の基準価額等の推移について（2015年９月25日から2020年９月25日まで）

当ファンドは、ファンド設定後５年間を経過していないため、設定日（2019年10月７日）以降の情報を記載しています。

最近５年間の推移



※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

最近５年間の年間騰落率

		2019.10.7 設定日	2020.9.25 決算日
基準価額	（円）	10,000	12,918
期間分配金合計（税引前）	（円）	－	2,500
分配金再投資基準価額騰落率	（%）	－	57.7
純資産総額	（百万円）	1	4,018

※2020年９月25日の「分配金再投資基準価額騰落率」は、ファンドの設定日からの騰落率で、年間騰落率とは異なります。

投資環境について（2020年３月26日から2020年９月25日まで）

当作成期の世界の株式市場は、大幅に上昇しました。

株式市場

作成期初には、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、景気や企業業績への深刻な打撃から世界経済が景気後退に陥るのではとの懸念から下落しました。しかし、主要各国が金融緩和や財政出動等の大規模な景気対策を発表したことから４月から上昇しました。

５月以降、感染拡大に伴う欧米諸国でのロックダウンが徐々に解除される中、経済活動再開への期待感が高まったことから続伸しました。在宅勤務やオンラインショッピングの増加を受けて、特に米国テクノロジー関連大型株式が上昇をけん引しました。

ただし、９月に入るとハイテク株を中心とした夏場の急騰に対する警戒感から調整売りが入り、やや下落しました。

当作成期の市場の動きをＭＳＣＩオール･カントリー・ワールド･インデックス（米ドルベース）でみると、作成期首に比べて33.6％上昇しました。ＭＳＣＩオール･カントリー・ワールド･インデックス（情報技術）（米ドルベース）でみると、作成期首に比べて46.1％上昇しました。

ポートフォリオについて（2020年３月26日から2020年９月25日まで）

当ファンド

「グローバルＡＩエクイティ・マザーファンド」の組入れを高位に保ちました。

また、実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いました。

グローバルＡＩエクイティ・マザーファンド

４月より、世界有数のエンターテイメント会社であるウォルト・ディズニーの組入れを開始しました。同社は、顧客の体験や満足度を向上させるため、テーマパークから映画、ビデオ制作等でＡＩを活用しています。新型コロナウイルスの影響で株価が下落する中、長期的には魅力的な水準であると判断し、組み入れました。

４月に、クラウドベースの企業向けビデオ会議システムを提供するズーム・ビデオ・コミュニケーションズを全売却しました。テレワークの増加を受け、同社ビデオ会議システムへの需要が急増しましたが、セキュリティ

面やユーザーの急増に伴うコストの増加により収益性に対する懸念も出てきたことから、株価が急騰した局面をとらえて、いったん利益確定のために全売却しました。

５月より、エッジ・クラウド・コンピューティングのプラットフォームを運営するファストリーの組入れを開始しました。同社のプラットフォームは、エンドユーザーに限りなく近い、インターネットのエッジでアプリケーションを提供し、高速で安全かつ拡張性の高いデジタル・サービスをサポートしています。ＡＩやＩｏＴ、デジタル化の進行で同社プラットフォームへの利用が拡大し、同社の収益およびマージンが拡大すると見込んでいます。

ベンチマークとの差異について（2020年３月26日から2020年９月25日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2020年３月26日から2020年９月25日まで）

当作成期の１万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、第６期は100円、第７期は200円、第８期と第９期はそれぞれ400円、第10期は500円、第11期は400円といたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保金につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

（単位：円、１万口当たり、税引前）

項　目	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
当期分配金	100	200	400	400	500	400
（対基準価額比率）	（0.940％）	（1.681％）	（3.116％）	（2.978％）	（3.543％）	（3.003％）
当期の収益	100	200	400	400	500	－
当期の収益以外	－	－	－	－	－	400
翌期繰越分配対象額	728	1,697	2,438	3,034	3,612	2,917

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「グローバルＡＩエクイティ・マザーファンド」の組入れを高位に保ちます。

原則として実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行います。

グローバルＡＩエクイティ・マザーファンド

新型コロナウイルスの感染が再び拡大する可能性は今も残っているものの、治療方法やワクチン開発に進捗が見られ、景気は正常化へ向けて回復が徐々に進んでいると考えています。当戦略は、感染拡大を受けて新しい働き方や消費の形態が具体化してくる中で、新たな市場を見出してソリューションを提供している多くの成長企業にエクスポージャーを取っています。また、過去数か月の調整の中で、バリュエーション（投資価値評価）が魅力的な水準になっている様々な業種において、新たなオポチュニティー（投資機会）としていくつかの銘柄を組み入れました。今後時間の経過と共に、株式市場のパフォーマンスが良好なものとなり、ポートフォリオの新たなポジションのいくつかが利益を上げることを期待しています。

長期的にみると、私たちはＡＩの進歩と開発によってもたらされた大規模な破壊的変化の、非常に初期の段階にあると引き続き考えています。これらの変化は、それぞれの産業においてＡＩを活用することが出来る企業に大きな成長を促進し、ディスラプション（創造的破壊）を引き起こすと考えています。ＡＩを実現する技術を持ち、ＡＩを積極的に取り入れることで、今後様々な場面で有利なポジションを獲得し、市場を牽引する企業となる可能性を持つ銘柄を選別して投資を行ってまいります。

（2020年10月１日現在）

3 お知らせ

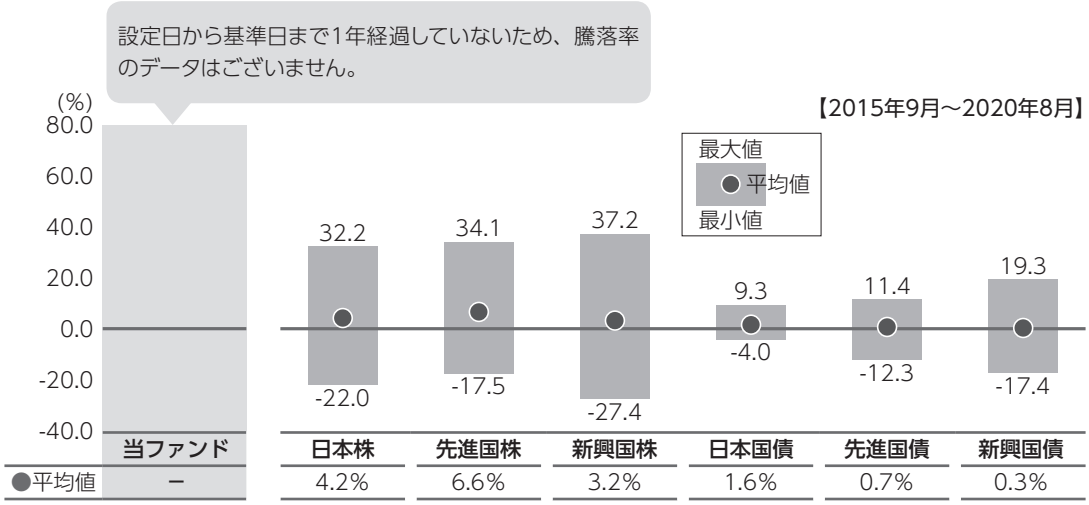
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2019年10月７日から2026年９月25日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 **グローバルＡＩエクイティ・マザーファンド** 世界の上場株式
当ファンドの運用方法	■世界の上場株式の中から、ＡＩ（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。 ■マザーファンドの運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.ＬＬＣに運用の指図に関する権限の一部を委託します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。
組入制限	**当ファンド** ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 **グローバルＡＩエクイティ・マザーファンド** ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■原則として、各計算期末の前営業日の基準価額（支払済み分配金（１万口当たり、税引前）累計額は加算しません。）に応じた金額の分配を目指します。ただし、分配対象額が少額な場合、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、分配を行わないことがあります。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近１年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。
※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日 本 株	**TOPIX（配当込み）** 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	**MSCIコクサイインデックス（グロス配当込み、円ベース）** MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	**MSCIエマージング・マーケット・インデックス（グロス配当込み、円ベース）** MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	**NOMURA−BPI（国債）** 野村證券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	**FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）** FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	**JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）** J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。
※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

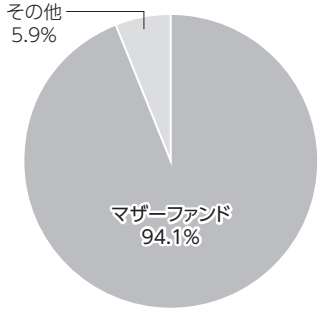
当ファンドの組入資産の内容（2020年９月25日）

組入れファンド等

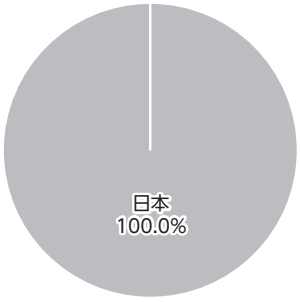
銘柄名	組入比率
グローバルAIエクイティ・マザーファンド	94.1%
コールローン等、その他	5.9%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

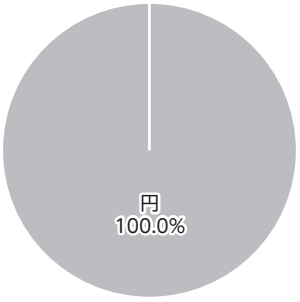
資産別配分（純資産総額比）



国別配分（ポートフォリオ比）



通貨別配分（純資産総額比）



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。
※実質外貨建資産に対して対円で92.6%の為替ヘッジを行っています。

純資産等

項目		第6期末	第7期末	第8期末	第9期末	第10期末	第11期末
純資産総額	(円)	231,784,761	314,333,616	994,639,904	1,569,314,247	2,758,023,394	4,018,725,673
受益権総口数	(口)	219,845,384	268,725,239	799,677,174	1,204,009,479	2,026,134,066	3,110,955,330
1万口当たり基準価額	(円)	10,543	11,697	12,438	13,034	13,612	12,918

※当作成期における、追加設定元本額は3,134,284,955円、解約元本額は208,102,031円です。

組入上位ファンドの直近決算概要

グローバルＡＩエクイティ・マザーファンド（2019年９月26日から2020年９月25日まで）

基準価額の推移

1万口当たりの費用明細

（単位：円）

項　目	（内訳）	金額	（内訳）
売買委託手数料	（株式）	21	（21）
	（投資信託証券）		（0）
有価証券取引税	（株式）	0	（0）
そ の 他 費 用	（保管費用）	2	（2）
	（その他）		（0）
合計		23	

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

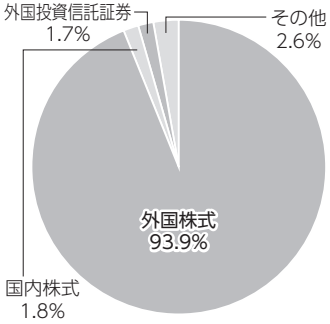
組入上位10銘柄

（基準日：2020年９月25日）

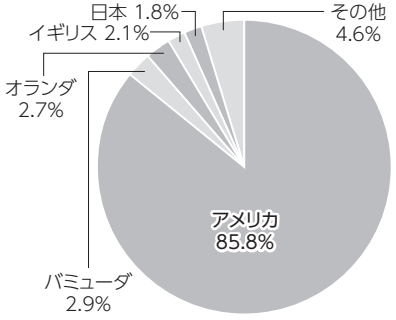
	銘柄名	業種	組入比率
1	TESLA INC	自動車・自動車部品	6.1%
2	ROKU INC	メディア・娯楽	5.8%
3	SQUARE INC-A	ソフトウェア・サービス	4.0%
4	SPLUNK INC	ソフトウェア・サービス	3.4%
5	SNAP INC-A	メディア・娯楽	3.3%
6	TWILIO INC-A	ソフトウェア・サービス	3.1%
7	SLACK TECHNOLOGIES INC-CL A	ソフトウェア・サービス	3.0%
8	BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	3.0%
9	THE WALT DISNEY CO.	メディア・娯楽	2.9%
10	MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD	半導体・半導体製造装置	2.9%
	全銘柄数	66銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。
※全組入銘柄につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

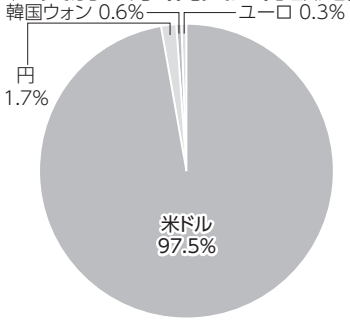
資産別配分（純資産総額比）



国別配分（ポートフォリオ比）



通貨別配分（純資産総額比）



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。
※基準日は2020年９月25日現在です。

ご参考　基準価額と分配金の関係

分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

決算期	①	②	③	④＝②＋③	⑤＝③÷①	⑥＝(④−①)÷①
	期首基準価額	期末基準価額	分配金（税引前）	分配金込み期末基準価額	期首基準価額に対する分配金の割合	分配金込みリターン（基準価額騰落率）
第6期	9,214円	10,543円	100円	10,643円	1.09%	15.51%
第7期	10,543円	11,697円	200円	11,897円	1.90%	12.84%
第8期	11,697円	12,438円	400円	12,838円	3.42%	9.75%
第9期	12,438円	13,034円	400円	13,434円	3.22%	8.01%
第10期	13,034円	13,612円	500円	14,112円	3.84%	8.27%
第11期	13,612円	12,918円	400円	13,318円	2.94%	△2.16%

表の見方

「分配金込みリターン（⑥）」とは

期末に支払われた分配金を含めた、**当期のファンドの運用成果を表しています。**

「分配金込みリターン（⑥）」と「期首基準価額に対する分配金の割合（⑤）」の関係

⑥＞⑤の場合	→	分配金は主に当期の運用成果から支払われています。
⑥＜⑤の場合	→	分配金は当期の運用成果を超えて支払われており、「期末基準価額（②）」は「期首基準価額（①）」と比べて下落することになります。

当期のファンドの運用成果は、お客さまの保有期間に応じた運用成果とは異なりますのでご注意ください。